

物件調書

〔土地〕

土地の表示	台帳地目	台帳地積	実測地積	所有・登記名義
忠隈字段々256番	宅地	588.10 m ²	588.10 m ²	飯塚市

〔建物〕

建物の表示	種類	構造	延床面積	建築年	名義
忠隈256番地	公民館	木造	156.51 m ²	昭和36年	飯塚市

第三者占有の有無	無	所有権以外の甲区・乙区の権利	無
----------	---	----------------	---

接面状況	本物件は建築基準法の道路に接道していません。
------	------------------------

敷地と道路の関係	東側市道「忠隈・浦ノ谷線」（幅員約4.5m～5.7m）と接道してはませんが、売却敷地と道路の間の土地は占有可能です。
----------	--

法令等に基づく制限について

区域区分	非線引都市計画区域	地域・地区等	無	私道の負担等	無
------	-----------	--------	---	--------	---

用途地域	第一種住居地域	建ぺい率	60%	容積率	200%
------	---------	------	-----	-----	------

建築物の高さの限度	無	外壁の後退距離の限度	無	建築物の敷地面積の最低限度	無
-----------	---	------------	---	---------------	---

立地適正化計画	都市機能誘導区域内・居住誘導区域内		埋蔵文化財	周知の埋蔵文化財包蔵地ではありません。
---------	-------------------	--	-------	---------------------

造成宅地防災区域	区域外	地盤調査	未実施
----------	-----	------	-----

土砂災害警戒区域	区域外	土壌汚染	指定区域外・調査未実施
----------	-----	------	-------------

宅地造成及び特定盛土等規制法に基づく規制区域	宅地造成等工事規制区域内	防火指定	建築基準法第22条指定区域内
------------------------	--------------	------	----------------

その他の制限	・建築基準法による各種制限があります。
--------	---------------------

支障物件等その他

<ul style="list-style-type: none"> ・今回の売払いにあたって、本物件の土壌調査、地盤調査及び地下埋設物調査は行っていません。所有権移転後に土壌汚染、地盤沈下及び地下埋設物が発見された場合は、買受者の負担により各法令等に基づき適切に対応してください。 ・登記簿及び旧土地台帳、電算化前の建物登記簿、国土地理院地図により地歴調査を行った結果、旧忠隈一区公民館が昭和36年に新築される以前に木造草葺平家建の使用を確認しました。これまでの使用に係る地下埋設物（通常想定される土地の利用を妨げるもので、地下に存するものをいう。）が存する蓋然性は低いと考えておりますが、本物件の地下埋設物の存在を否定するものではありません。 ・物件内に遊具、生垣、掲示板、防火水槽、電柱、支線、電灯、樹木、電線が存在しています。 ・当該地は道路に接道していませんが、売却敷地と道路の間の土地は占有可能です。詳細については、穂波支所経済建設課（0948-96-8612）へお問い合わせください。 ・本物件の西側は法地であり、法地に近接して建築物を建てる場合などは、福岡県建築基準法施行条例第5条の検討が必要となる場合があります。 ・本物件の西側に位置する法面は、本物件ならびに隣接地である忠隈261番2及び忠隈261番4の三筆の土地にまたがって存しています。法面の取り扱いについては、隣接者と協議を行ってください。 ・本物件の埋蔵文化財の有無について、試掘調査を行った結果、埋蔵文化財は確認されませんでした。埋蔵文化財が確認された場合は、その保護について、飯塚市文化課文化財保護推進室（0948-25-2930）との協議をお願いします。 ・建物については解体撤去することを条件とします。 ・建物の石綿分析調査を実施しています。調査結果は付属資料をご確認ください。なお、この調査における試料採取作業は建物全体を網羅したのではなく、調査範囲のほかにアスベスト含有建材が使用されている可能性を否定するものではありません。
--

供給処理施設の整備状況について			
上水道	【問い合わせ先】	飯塚市 企業局 上水道課	Tel.0948-96-8616
下水道 (事業計画区域外)	【問い合わせ先】	飯塚市 企業局 下水道課	Tel.0948-96-8690
電 気	【問い合わせ先】	九州電力株式会社 飯塚営業所	Tel.0120-639-454
ガ ス	各ガス会社へお問い合わせください。		

公共施設	飯塚市穂波支所	西方	約 0.3 km	(直線距離)
	飯塚市立 小中一貫校 穂波東校	南方	約 1.1 km	(直線距離)

交通施設	飯塚駅 (JR)	北東方	約 0.9 km	(直線距離)
	忠隈 (西鉄バス)	北西方	約 0.1 km	(直線距離)

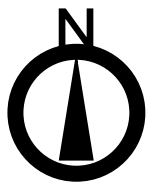
利便施設	ダイレックス飯塚店	北西方	約 0.4 km	(直線距離)
------	-----------	-----	----------	--------

○売却物件				
① 本物件は、現状のままでの引き渡しとなります。				
② 上水道の給水等に関しては、飯塚市企業局上水道課と事前協議を要します。				
③ 本物件は、公共下水道事業計画区域外です。詳細については、下水道課へお問い合わせください。				
④ 当該地は周知の埋蔵文化財包蔵地には該当しません。なお、埋蔵文化財が確認された場合は、その保護について、飯塚市文化課文化財保護推進室 (0948-25-2930) との協議をお願いします。				

○利用条件				
以下の条件を全て満たすこと。				
① 都市計画法(昭和43年法律第100号)及び建築基準法(昭和25年法律第100号)を遵守すること。				
② 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律(昭和23年法律第122号)第2条第1項各号に掲げる風俗営業及び同条第5項に規定する性風俗関連特殊営業並びにこれに類する営業の用に供してはならないこと。				
③ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号及び第4号に規定する者の事務所の用に供してはならないこと。				
④ 無差別大量殺人行為を行った団体の規制に関する法律(平成11年法律第147号)第5条第1項に規定する観察処分の決定を受けた団体の事務所の用に供してはならないこと。				

この物件調書は、物件の概要を把握するための参考資料であり、現況を優先します。入札参加前に現地の状況及び諸規制についてご確認ください。また、物件調書に記載されている事項以外にも各法令及び市の条例等により、規制、指導がなされる場合がありますので、詳細は関係機関に直接ご確認ください。





主な構造物等

- : 売払範囲 □: 舗装 □: 遊具 □: 生垣 □: 掲示板
□: 防火水槽 ●: 電柱 ●: 支線 ●: 電灯 ●: 樹木 —: 電線



②



③



④



⑤



遊具



遊具



生垣



掲示板・電柱・電灯・樹木



電柱・支線



電柱・支線



電柱・支線・電灯



樹木

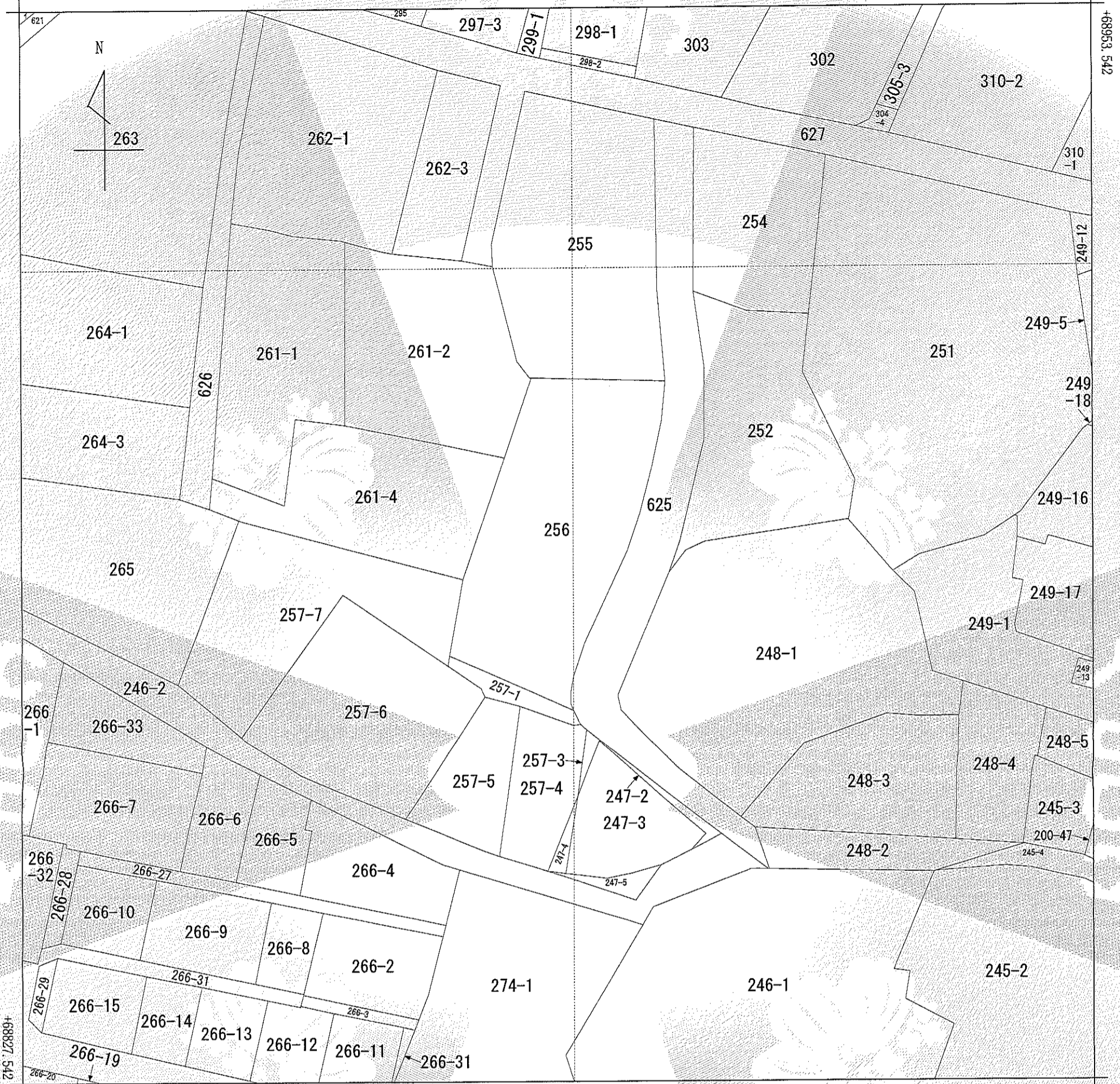


樹木



防火水槽





-29285.090 (座標値種別：図上測定)

(注) 地図に準ずる図面は、土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間、これに代わるものとして備え付けられている図面で、土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。

地番区域見出し	忠隈
---------	----

請求 部分	所在	飯塚市忠隈字段々		地番	256番
出縮 力尺	1/500	精度 区分	座標系 番号又は 記号	II	分類
作成 年月日					地図に準ずる図面
					種類
					地籍図
					備付 年月日 (原図)
					補記 事項

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

令和8年2月9日
福岡法務局飯塚支局
登記官

請求番号：10-1
(1/1)

藤塚英二



表題部 (土地の表示)		調製	平成13年2月21日	不動産番号	2902000063927
地図番号	[余白]	筆界特定	[余白]		
所在	嘉穂郡穂波町大字忠隈字段々			[余白]	
	飯塚市忠隈字段々			平成18年3月26日行政区画変更	平成18年6月9日登記
①地番	②地目	③地積	町反故昔町	原因及びその日付〔登記の日付〕	
256番	宅地	⑩	190 00	[余白]	
[余白]	[余白]		601 57	③257番2、259番2を合筆 国土調査による成果 〔昭和40年10月13日〕	
[余白]	[余白]	[余白]		昭和63年法務省令第37号附則第2条第2項 の規定により移記 平成13年2月21日	
[余白]	[余白]		588 10	③錯誤 〔令和8年1月28日〕	

権利部 (甲区) (所有権に関する事項)			
順位番号	登記の目的	受付年月日・受付番号	権利者その他の事項
1	所有権移転	昭和59年10月24日 第14904号	原因 昭和59年9月7日寄付 所有者 嘉穂郡穂波町 順位14番の登記を移記
	[余白]	[余白]	昭和63年法務省令第37号附則第2条第2項 の規定により移記 平成13年2月21日
2	所有権移転	令和5年12月25日 第11485号	原因 平成18年3月26日合併 所有者 福岡県飯塚市



これは登記記録に記録されている事項の全部を証明した書面である。ただし、登記記録の乙区に記録されている事項はない。

令和8年2月9日
福岡法務局飯塚支局

登記官

藤塚英二

* 「登記の目的」欄に「相続人申告」と記載されている登記は、所有権の登記名義人(所有者)の相続人からの申出に基づき、登記官が職権で、申出があった相続人の住所・氏名等を付記したものであり、権利関係を公示するものではない。

* 下線のあるものは抹消事項であることを示す。

整理番号 D18636 (1/1)



令和8年2月9日
これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
福岡法務局飯塚支局

登記官

藤塚英二



地番	256番	地積測量図
土地の所在	飯塚市忠隈字段々	

求積表

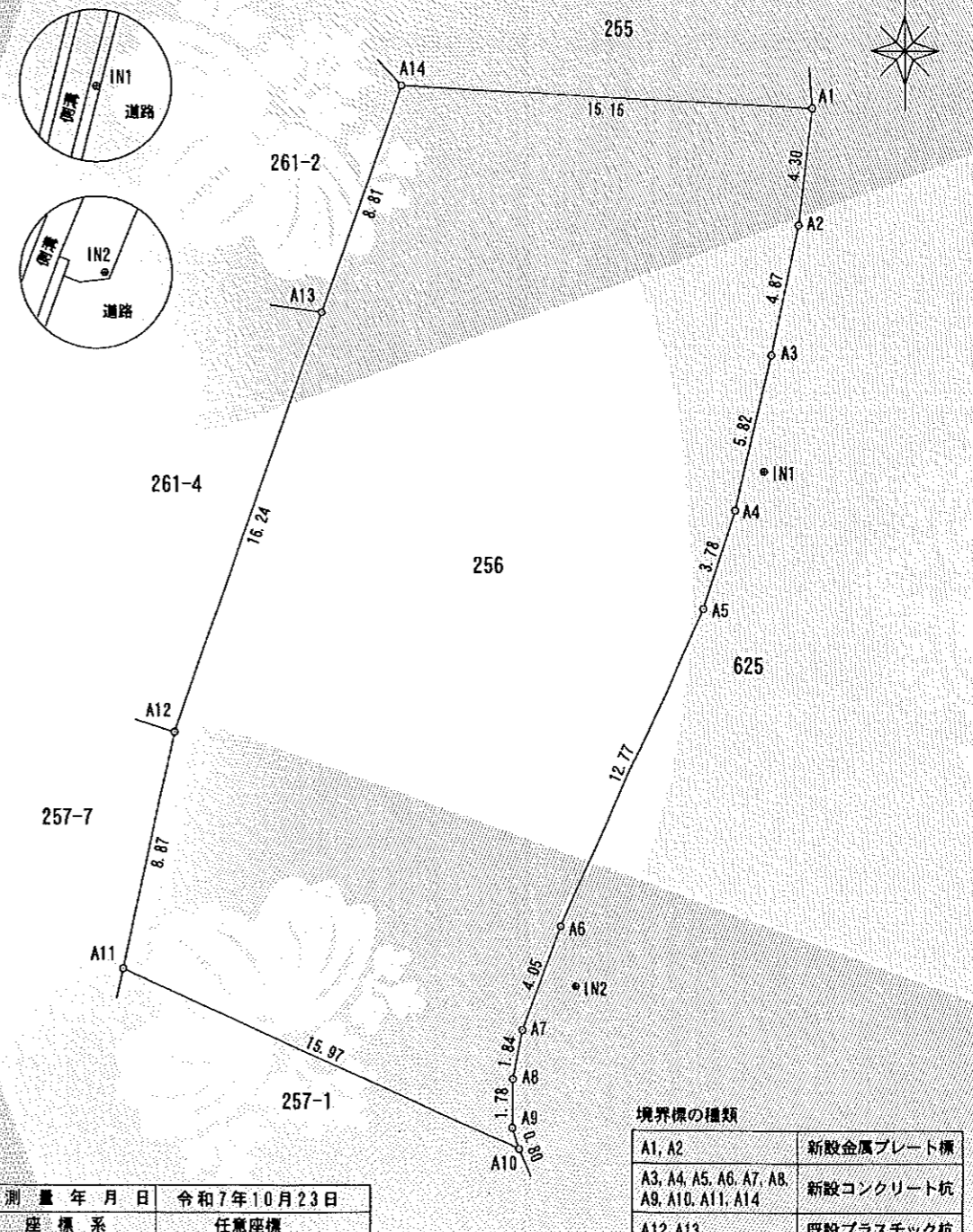
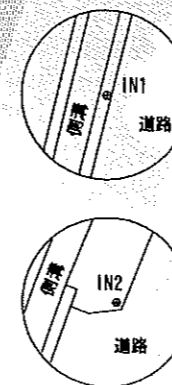
地番	256			
NO	Xn	Yn	Xn · (Yn+1 - Yn-1)	距離
A1	68908.943	-29209.948	1008000.018204	4.30
A2	68904.666	-29210.458	-105148.520316	4.87
A3	68899.902	-29211.474	-161845.869798	5.82
A4	68894.234	-29212.807	-173200.104276	3.78
A5	68890.636	-29213.988	-443862.367748	12.77
A6	68878.999	-29219.250	-463211.268275	4.05
A7	68875.216	-29220.713	-125215.142688	1.84
A8	68873.401	-29221.068	-26103.018979	1.78
A9	68871.618	-29221.092	16115.958612	0.80
A10	68870.856	-29220.834	-983889.048816	15.97
A11	68877.455	-29235.378	-870955.418475	8.87
A12	68886.121	-29233.479	505624.128140	16.24
A13	68901.431	-29228.038	578289.710383	8.81
A14	68909.738	-29225.086	1246577.160420	15.15
合計			1176.216388	
合計面積			588.1081940	
地積			588.10	m ²

参照点座標

点名	X座標	Y座標	備考
IN1	68895.650	-29211.753	新設真鍮丸標
IN2	68876.796	-29218.670	新設真鍮丸標

筆界点	器械点	後視点	距離	夾角	筆界点	器械点	後視点	距離	夾角
A1	IN1	IN2	20.082	0°-00'-00"	A1	IN2	IN1	20.082	0°-00'-00"
A2			13.414	167° 35' 10"	A2			33.309	355° 01' 59"
A3			9.108	168° 01' 37"	A3			29.054	356° 16' 16"
A4			4.261	163° 36' 27"	A4			24.200	357° 09' 06"
A5			1.765	16° 30' 56"	A5			18.397	358° 26' 13"
A6			5.489	3° 52' 42"	A6			14.610	358° 32' 37"
A7			18.260	4° 05' 34"	A7			2.278	325° 06' 12"
A8			22.312	3° 31' 48"	A8			2.582	212° 08' 09"
A9			24.120	2° 34' 15"	A9			4.156	195° 05' 17"
A10			25.782	1° 05' 23"	A10			5.716	184° 55' 16"
A11			26.404	359° 58' 08"	A11			6.321	179° 52' 14"
A12			29.819	32° 15' 05"	A12			16.720	252° 06' 43"
A13			23.723	46° 10' 16"	A13			17.500	282° 03' 05"
A14			17.280	89° 23' 52"	A14			26.356	319° 01' 59"
			19.396	116° 25' 50"	A14			33.560	328° 49' 55"

参照点詳細図

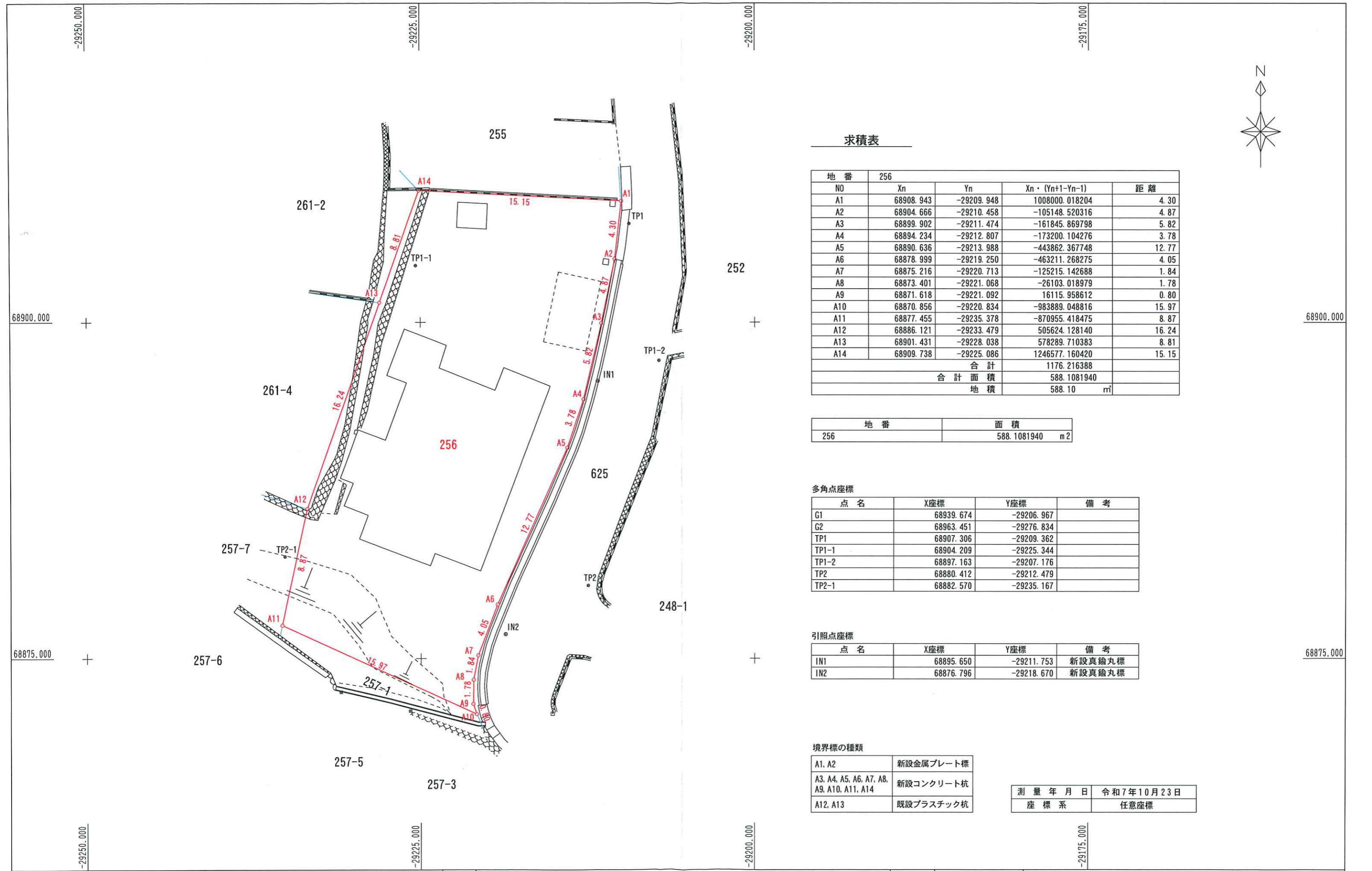


測量年月日	令和7年10月23日
座標系	任意座標

境界標の種類	
A1, A2	新設金属プレート標
A3, A4, A5, A6, A7, A8, A9, A10, A11, A14	新設コンクリート杭
A12, A13	既設プラスチック杭

作成者 福岡県飯塚市有安1番地101
土地家屋調査士 富田浩之 (令和7年12月21日作成)

申請人 飯塚市長 武井政一 縮尺 1/250



求積表

地番	256			
NO	Xn	Yn	Xn · (Yn+1 - Yn-1)	距離
A1	68908.943	-29209.948	1008000.018204	4.30
A2	68904.666	-29210.458	-105148.520316	4.87
A3	68899.902	-29211.474	-161845.869798	5.82
A4	68894.234	-29212.807	-173200.104276	3.78
A5	68890.636	-29213.988	-443862.367748	12.77
A6	68878.999	-29219.250	-463211.268275	4.05
A7	68875.216	-29220.713	-125215.142688	1.84
A8	68873.401	-29221.068	-26103.018979	1.78
A9	68871.618	-29221.092	16115.958612	0.80
A10	68870.856	-29220.834	-983889.048816	15.97
A11	68877.455	-29235.378	-870955.418475	8.87
A12	68886.121	-29233.479	505624.128140	16.24
A13	68901.431	-29228.038	578289.710383	8.81
A14	68909.738	-29225.086	1246577.160420	15.15
合計			1176.216388	
合計面積			588.1081940	
地積			588.10	m ²

地番	面積
256	588.1081940 m ²

多角点座標

点名	X座標	Y座標	備考
G1	68939.674	-29206.967	
G2	68963.451	-29276.834	
TP1	68907.306	-29209.362	
TP1-1	68904.209	-29225.344	
TP1-2	68897.163	-29207.176	
TP2	68880.412	-29212.479	
TP2-1	68882.570	-29235.167	

引照点座標

点名	X座標	Y座標	備考
IN1	68895.650	-29211.753	新設真鍮丸標
IN2	68876.796	-29218.670	新設真鍮丸標

境界標の種類

A1, A2	新設金属プレート標
A3, A4, A5, A6, A7, A8, A9, A10, A11, A14	新設コンクリート杭
A12, A13	既設プラスチック杭

測量年月日	令和7年10月23日
座標系	任意座標

委託業務名	市有地(忠限256番)分筆登記測量業務	作成者	公益社団法人福岡県公共嘱託登記土地家屋調査士協会 北部事務所社員 富田 浩之 社員事務所 TEL 0948-82-3766 FAX 82-3766	縮尺	1:250	確定平面図
委託場所	飯塚市忠限字段々256番			令和7年12月21日作成		

旧忠隈一区公民館
石綿事前・分析調査業務 委託

報 告 書

令和7年12月

エヌエス環境株式会社

目 次

	頁
1. 業務概要	1
1-1 業務件名	1
1-2 業務内容	1
1-3 履行期間	1
1-4 対象施設	1
1-5 調査項目	2
1-6 調査実施機関及び調査実施者	3
2. アスベスト事前調査方法	3
2-1 目視調査方法	3
3. 試料採取及び分析調査の方法	4
3-1 試料採取方法	4
3-2 分析方法	4
4. 調査結果	4
4-1 分析調査結果	4
4-2 アスベスト調査結果	6

【添付資料】

- ・アスベスト調査結果
- ・アスベスト調査結果(図・写真)個票
- ・石綿分析結果報告書
- ・作業状況写真
- ・資格証

1. 業務概要

1-1 業務件名

旧忠隈一区公民館石綿事前・分析調査業務 委託

1-2 業務内容

敷地売却による不動産鑑定のため、事前に建物の石綿調査を実施した。

1-3 履行期間

<自>令和7年 10月 28日

<至>令和8年 1月 30日

1-4 対象施設

対象施設は表 1-1 および図 1-1 に示すとおりである。図中の網掛けの範囲内の内外装建材を調査対象とした。

表 1-1 対象施設

対象施設	施設情報	所在地
旧忠隈一区公民館	建築年度：不明 建物構造：木造平屋	飯塚市忠隈 地内

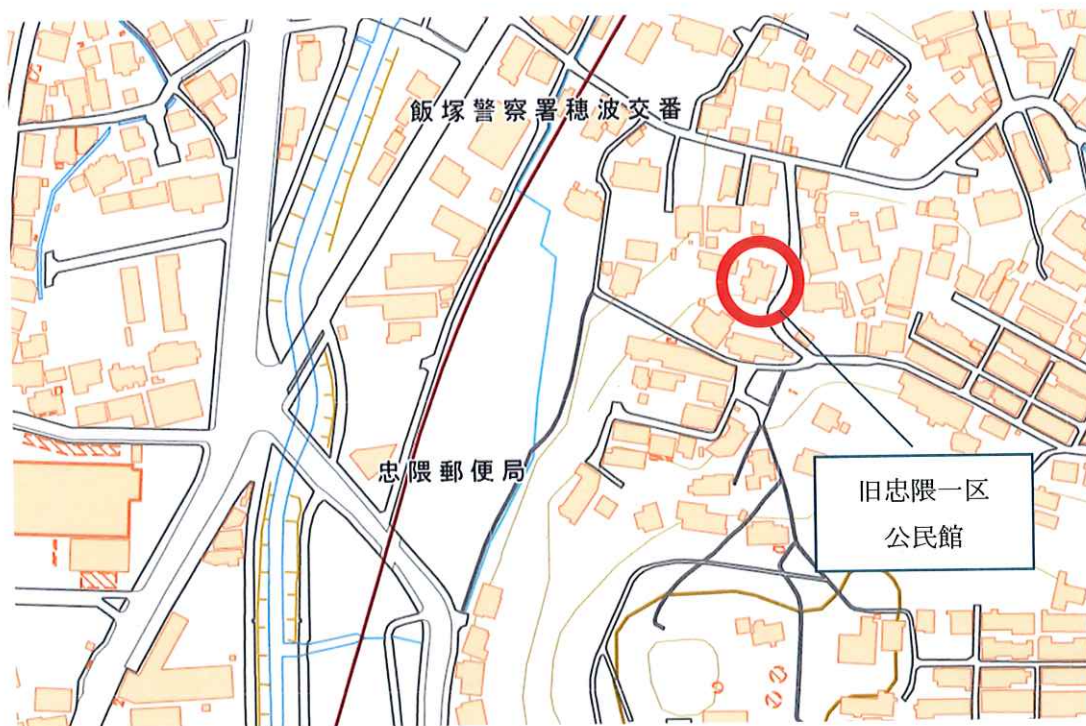


図 1-1 対象施設

1-5 調査項目

本業務の調査項目は表 1-2 に示すとおりである。

表 1-2 調査項目

対象施設	調査項目
旧忠隈一区公民館	目視調査
	試料採取及び定性分析

1-6 調査実施機関及び調査実施者

調査実施機関及び調査実施者は以下のとおりである。

【調査実施機関】

エヌエス環境株式会社 西日本支社

住 所：福岡県福岡市博多区相生町 3-2-3

電 話：092-574-9390

【調査実施者】

- ・建築物石綿含有建材調査者(一般調査者講習)

講習修了番号：37-00049 号

交付日：2021 年 10 月 29 日

講習実施機関：建設業労働災害防止協会 香川支部

【分析技術者】

- ・第 18 回石綿分析技術評価事業 A ランク 認定証

交付番号：2413A0104 号

認定の有効期限：令和 6 年 9 月 1 日～令和 8 年 8 月 31 日

交付年月日：令和 6 年 8 月 31 日

認定機関：公益社団法人 日本作業環境測定協会

2. アスベスト事前調査方法

2-1 目視調査方法

現地にて、調査対象建築物の予定工事の内容を踏まえ、使用建材等の目視確認により、石綿使用(可能性のあるものを含む)の有無、分析調査の必要性について調査を行った。

なお、本調査は「破壊をしない、立入可能である、危険を伴わない範囲」で実施した。

3. 試料採取及び分析調査の方法

3-1 試料採取方法

試料採取作業は「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」（厚生労働省・環境省、令和7年3月訂正事項を反映）に準拠し、1検体あたり3箇所から、それぞれ分析に必要な量を採取した。

試料採取にあたっては、粉じんが飛散しやすい状態となり、アスベスト暴露の危険があるため、採取前に採取箇所を湿潤化または養生を行うとともに、採取後は飛散防止剤（スプレーペンキ等）の塗布、テープ等で採取箇所の閉塞などを行い、飛散防止措置を講じた。

試料採取者はアスベスト暴露を防止するため、呼吸用保護具、保護眼鏡及び手袋を着用の上で作業を行った。

採取作業中は事故の無いよう安全作業に努めるとともに、作業場所の整理整頓に努め、作業完了後は速やかに機材等を搬出し、作業場所の清掃を行った。

採取試料及び採取作業により発生した廃棄物は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」にもとづき適正に処分した。

3-2 分析方法

採取した試料について「JIS A 1481-1」による定性分析を行った。

分析対象とするアスベストの種類は、アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アンソフィライト、トレモライト及びアクチノライトの6種類とした。

4. 調査結果

4-1 分析調査結果

事前調査後に発注者と協議し、含有の有無が不明な建材15検体を分析対象とした。

分析結果は表4-1に示すとおり、2検体からアスベストが検出された。

なお、検出された2検体は全て、アスベストレベル3（発じん性が比較的低い）に該当する建材であり、飛散のおそれのある劣化は見られなかった。

表 4-1 アスベスト分析調査結果一覧

No	部屋	部位	建材	分析結果	備考
1	外部	屋根	セメント瓦	含有無し	-
2	外部	瓦屋根下地	アスファルトフェルト	含有無し	-
3	外部	玄関庇	スレート板	含有	スレート板から検出
4	外部	鋼板屋根下地	アスファルトフェルト +保温材	含有無し	-
5	外部	外壁	モルタル仕上	含有無し	-
6	外部	外壁下地	アスファルトフェルト	含有無し	-
7	玄関	土間	モルタル	含有無し	-
8	和室 1	内壁	しっくい	含有無し	-
9	和室 2	内壁	しっくい	含有無し	-
10	台所	内壁	ケイ酸カルシウム板 +クロス	含有	ケイ酸カルシウム板 から検出
11	台所	内壁	100 角磁器タイル	含有無し	-
12	台所	天井	化粧石膏ボード	含有無し	-
13	便所(小便器)	腰壁	モルタル	含有無し	-
14	便所前通路	内壁	ベニヤ +ジュラク吹付	含有無し	-
15	増築部屋	天井	木毛板+塗材	含有無し	-

4-2 アスベスト調査結果

事前調査及び分析結果を踏まえ、調査対象のアスベスト建材の使用状況を整理した。事前調査及び分析結果から判断するアスベスト含有の有無及び不明の定義は表 4-2 に、それらを判断するための根拠資料は表 4-3 に示すとおりである。

整理した調査結果については、添付資料に示す。

表 4-2 アスベストの含有あり・含有なし・不明の定義

区別	定義
含有あり	<ul style="list-style-type: none"> ・石綿分析結果により 0.1%重量を超えるアスベストの含有が判明しているもの。 ・目視調査により、対象施設に施工されている建材等の製品名称、製造年等が判明し、根拠資料により、アスベストの含有が明らかなもの。
含有なし	<ul style="list-style-type: none"> ・石綿分析結果により 0.1%重量を超えるアスベストを含有しないことが判明しているもの。 ・目視調査により、対象施設に施工されている建材等の製品名称、製造年等が判明し、表 4-3 に示す根拠資料により、アスベストを含有しないことが明らかなもの。 ・目視調査によりアスベストを含有しない建材等（木材、土壁、金属、磁器等）であることが明らかなもの。
不明	<ul style="list-style-type: none"> ・目視調査によっても、建材等の製品名称、製造年等が不明であり、根拠資料と照合できないもの。 ・目視調査で確認できなかった部位に施工されていると推定されるもの。

表 4-3 判断根拠資料一覧

略称	判断の根拠とした資料名称
分析結果	石綿分析結果 ※含有なしと判断できるのは、アスベスト含有の基準が 0.1%重量である場合のみである。（含有の基準が 5%重量または 1%重量であった時期の分析結果では、0.1%重量で含有なしとは判断できない。）
データベース	石綿（アスベスト）含有建材データベース ※データベースに記載がないことだけで含有なしとは判断できない。
メーカー	メーカーによる証明または業界団体資料（ホームページ等）
目視	目視調査によりアスベストを含有しない建材等（木材、土壁、金属、磁器等）であることが明らかなもの。
書面	設計図、竣工図等の書面 ※書面の情報と実際の施工が異なる場合がある。
ヒアリング	施設管理者等へのヒアリングによる竣工、改修等の時期の判断

建物情報

名称	旧忠隈一区公民館	建設年度	不明	改修歴	不明	建物構造	木造平屋
----	----------	------	----	-----	----	------	------

通し番号	部屋番号	部屋名称	部位	建材名称【目視調査】	飛散性レベル	石綿含有有無	判定方法	施工面積 (m ²)	備考
外部建材									
1	1	屋根	瓦屋根	セメント瓦	-	無	分析結果	-	-
2			瓦屋根下地	アスファルトフェルト	-	無	分析結果	-	-
3			鋼板屋根	鋼板	-	無	明らかな非含有建材	-	-
4			鋼板屋根下地	ウレタン保温材	-	無	分析結果	-	-
5			鋼板屋根下地	アスファルトフェルト	-	無	分析結果	-	-
6	2	外壁	外壁	木	-	無	明らかな非含有建材	-	-
7				モルタル仕上	-	無	分析結果	-	-
8				トタン	-	無	明らかな非含有建材	-	-
9			外壁下地	アスファルトフェルト	-	無	分析結果	-	-
10			巾木	モルタル仕上	-	無	同一建材の分析結果から判断	-	通し番号7と同一建材とした
11	3	庇	庇	アルミ	-	無	明らかな非含有建材	-	-
12			庇上裏	木	-	無	明らかな非含有建材	-	-
13			玄関庇	スレート板	3	有	分析結果	2.34	スレート板から検出
14	4	配管	保温材	ウレタン保温材	-	無	国交省DB	-	-
15	5	樋	縦樋	塩ビ管	-	無	明らかな非含有建材	-	-
16	6	増築部屋	外壁	トタン	-	無	明らかな非含有建材	-	-
17	7	外部倉庫1	屋根	トタン	-	無	明らかな非含有建材	-	-
18			外壁、内壁	トタン	-	無	明らかな非含有建材	-	-
19	8	外部倉庫2	屋根	鋼板	-	無	明らかな非含有建材	-	-
20			外壁	トタン	-	無	明らかな非含有建材	-	-
21			巾木	コンクリートブロック	-	無	明らかな非含有建材	-	-
22			軒裏	木	-	無	明らかな非含有建材	-	-
23			内壁	ベニヤ	-	無	明らかな非含有建材	-	-
24			天井	木	-	無	明らかな非含有建材	-	-

建物情報

名称	旧忠隈一区公民館	建設年度	不明	改修歴	不明	建物構造	木造平屋
----	----------	------	----	-----	----	------	------

通し番号	部屋番号	部屋名称	部位	建材名称【目視調査】	飛散性レベル	石綿含有有無	判定方法	施工面積(m ²)	備考
内部建材									
25	9	玄関	土間 床、立上り	モルタル	-	無	分析結果	-	-
26			踏込	木	-	無	明らかな非含有建材	-	-
27			内壁	しっくい	-	無	同一建材の分析結果から判断	-	通し番号31と同一建材とした
28			内壁下地	土壁	-	無	明らかな非含有建材	-	-
29			天井	ベニヤ	-	無	明らかな非含有建材	-	-
30	10	和室1	床	タタミ	-	無	明らかな非含有建材	-	-
31			内壁	しっくい	-	無	分析結果	-	-
32			内壁下地	土壁	-	無	明らかな非含有建材	-	-
33			天井	ベニヤ	-	無	明らかな非含有建材	-	-
34	11	和室2	床	タタミ	-	無	明らかな非含有建材	-	-
35			内壁	しっくい	-	無	分析結果	-	-
36			内壁下地	土壁	-	無	明らかな非含有建材	-	-
37			天井	ベニヤ	-	無	明らかな非含有建材	-	-
38				ベニヤ(新設)	-	無	明らかな非含有建材	-	-
39	12	和室3	床	タタミ	-	無	明らかな非含有建材	-	-
40			内壁	しっくい	-	無	同一建材の分析結果から判断	-	通し番号31と同一建材とした
41			内壁下地	土壁	-	無	明らかな非含有建材	-	-
42			天井	ベニヤ	-	無	明らかな非含有建材	-	-
43	13	廊下	床	フローリング	-	無	明らかな非含有建材	-	-
44			内壁	しっくい	-	無	同一建材の分析結果から判断	-	通し番号31と同一建材とした
45			内壁下地	土壁	-	無	明らかな非含有建材	-	-
46			天井	ベニヤ	-	無	明らかな非含有建材	-	-
47	14	洗面所	床	フローリング	-	無	明らかな非含有建材	-	-
48			内壁	しっくい	-	無	同一建材の分析結果から判断	-	通し番号31と同一建材とした
49				カラー合板	-	無	明らかな非含有建材	-	-
50			内壁下地	土壁	-	無	明らかな非含有建材	-	-
51			天井	ベニヤ	-	無	明らかな非含有建材	-	-

建物情報

名称	旧忠隈一区公民館	建設年度	不明	改修歴	不明	建物構造	木造平屋
----	----------	------	----	-----	----	------	------

通し番号	部屋番号	部屋名称	部位	建材名称【目視調査】	飛散性レベル	石綿含有有無	判定方法	施工面積(m ²)	備考
52	15	便所(小便器)	床	モルタル	-	無	同一建材の分析結果から判断	-	通し番号53と同一建材とした
53			腰壁	モルタル	-	無	分析結果	-	-
54			内壁	しっくい	-	無	同一建材の分析結果から判断	-	通し番号31と同一建材とした
55			内壁下地	土壁	-	無	明らかな非含有建材	-	-
56			天井	ベニヤ	-	無	明らかな非含有建材	-	-
57	16	便所前通路	床	フローリング	-	無	明らかな非含有建材	-	-
58			内壁	しっくい	-	無	同一建材の分析結果から判断	-	通し番号31と同一建材とした
59				ベニヤ+ジュラク吹付	-	無	分析結果	-	-
60			内壁下地	土壁	-	無	明らかな非含有建材	-	-
61			天井	ベニヤ	-	無	明らかな非含有建材	-	-
62	17	便所(大便器)	床	フローリング	-	無	明らかな非含有建材	-	-
63			内壁	しっくい	-	無	同一建材の分析結果から判断	-	通し番号31と同一建材とした
64			内壁下地	土壁	-	無	明らかな非含有建材	-	-
65			天井	ベニヤ	-	無	明らかな非含有建材	-	-
66	18	台所	床	パーケットフローリング1	-	無	明らかな非含有建材	-	-
67				パーケットフローリング2	-	無	明らかな非含有建材	-	-
68			巾木	木	-	無	明らかな非含有建材	-	-
69			内壁	ケイ酸カルシウム板+クロス	3	有	分析結果	26.57	ケイ酸カルシウム板から検出
70				100角磁器タイル	-	無	分析結果	-	-
71				ベニヤ	-	無	明らかな非含有建材	-	-
72			天井	化粧石膏ボード	-	無	分析結果	-	-
73			土間 床、立上り	モルタル	-	無	同一建材の分析結果から判断	-	通し番号25と同一建材とした
74	19	増築部屋	床	フローリング	-	無	明らかな非含有建材	-	-
75			巾木	木	-	無	明らかな非含有建材	-	-
76			内壁	ベニヤ	-	無	明らかな非含有建材	-	-
77			天井	木毛板+塗材	-	無	分析結果	-	-